

< 別紙 >

AX2500/AX2000HL NTP サーバ同期設定無効化手順書

【目的】

本手順書は、AX2500/AX2000HL の NTP 同期有効化/無効化の確認、および NTP 設定の無効化/有効化手順について記載しております。

1. NTP 同期有効化/無効化確認手順

(1) CLI の場合

CLI でロードバランサに接続し、ログインします。

“enable” コマンドを実行し、イネーブルモードに移行します。

“show ntp server” コマンドを実行し、“No NTP server is configured” と表示されていれば、無効化状態です。2. 項以降の手順は不要です。

【NTP サーバ同期無効化の場合】

```
hitachi#show ntp server
% No NTP server is configured
```

以下例のように表示されている場合は、NTP 同期有効化状態です。

【NTP サーバ同期有効化の場合】

```
hitachi#show ntp server
Ntp Server                Mode
-----
10.255.254.50             enabled
10.255.254.51             enabled
```

(2) GUI の場合

GUI でロードバランサに接続し、ログインします。

コンフィグ > システム > 時間 タブを選択します。

NTP の欄に NTP サーバが表示されていなければ、NTP 同期無効化状態です。

NTP サーバが表示されていれば、NTP 同期有効化状態です。

【NTP サーバ同期無効化の場合】

図 1. 1 をご参照ください。

【NTP サーバ同期有効化の場合】

図 1. 2 をご参照ください。

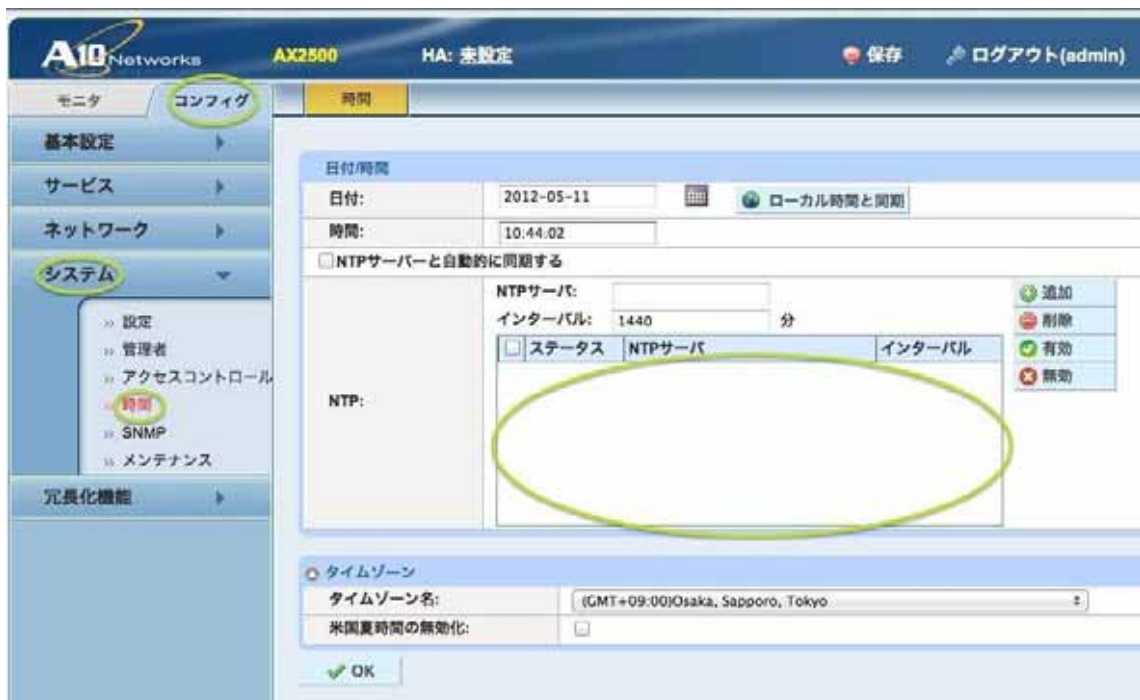


図 1 . 1 NTP 同期無効化の場合



図 1 . 2 NTP 同期有効化の場合

2 . NTP 同期無効化手順

(うるう秒挿入 (2015 年 7 月 1 日 午前 8 時 59 分 60 秒) の 30 分前までに設定をお願いします)

(1) CLI の場合

CLI でロードバランサに接続し、ログインします。

“enable” コマンドを実行し、イネーブルモードに移行します。

“config terminal” コマンドを実行し、コンフィグモードに移行します。

“ntp disable” コマンドを実行し、NTP 同期を無効化します。

“write memory” コマンドを実行し、設定変更を保存します。

“show ntp server” コマンドを実行し、Mode が disabled になっていることを確認します。

```
hitachi(config)#show ntp server
```

Ntp Server	Mode
10.255.254.50	disabled
10.255.254.51	disabled

(2) GUI の場合

GUI でロードバランサに接続し、ログインします。

コンフィグ > システム > 時間 タブを選択します。

画面中の「ステータス」項目左のチェックボックスをクリックし、全 NTP サーバを選択する。その後、右ペイン「無効」ボタンをクリックします。

(次ページ、図 2 . 1 をご参照ください。)

表示されている全 NTP サーバのステータスが「無効(x)」に変更されたことを確認します。

右上の「保存」ボタンをクリックし、設定を保存します。

(次ページ、図 2 . 2 をご参照ください。)



図 2 . 1 NTP 同期無効化前の画面



図 2 . 2 NTP 同期無効化後の画面

3 . NTP 同期有効化手順

(無効化を実施した場合には、うるう秒挿入後(2015年7月1日 午前8時59分60秒)以降に本手順で有効化をお願いします)

(1) CLI の場合

CLI でロードバランサに接続し、ログインします。

“enable” コマンドを実行し、イネーブルモードに移行します。

“config terminal” コマンドを実行し、コンフィグモードに移行します。

“ntp enable” コマンドを実行し、NTP 同期を有効化します。

“write memory” コマンドを実行し、設定変更を保存します。

“show ntp status” コマンドを実行し、1 台の NTP サーバの Status 欄が **synchronized** になったことを確認します(約 10 分程度を要します)。

```
hitachi#show ntp status
```

Ntp Server	Status
10.255.254.50	synchronized
10.255.254.51	polling

(2) GUI の場合

GUI でロードバランサに接続し、ログインします。

コンフィグ>システム>時間 タブを選択します。

画面中の「NTP サーバーと自動的に同期する」のチェックボックスをクリックし、チェックを入れます。

画面中の「ステータス」項目左のチェックボックスをクリックし、全 NTP サーバを選択します。その後、右ペイン「有効」ボタンをクリックします。

下部の「OK」ボタンをクリックします。

(次ページ、図 3 . 1 をご参照ください。)

表示されている全 NTP サーバのステータスが「有効」に変更されたことを確認します。

右上の「保存」ボタンをクリックし、設定を保存します。

(次ページ、図 3 . 2 をご参照ください。)



図3.1 NTP同期有効化前の画面



図3.2 NTP同期有効化後の画面

以上